

笑顔

第13号

平成22年10月 <http://www.kyouninkai.jp/yasuragi/index.html>

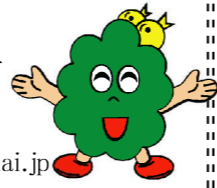
熊本市中央4地域包括支援センター(認知症対応強化型)

やすらぎの森

熊本市渡鹿5丁目1番37号

電話:096-375-1412

E-mail:yasuraginomori@kyouninkai.jp



見つけて・つないで・対応する

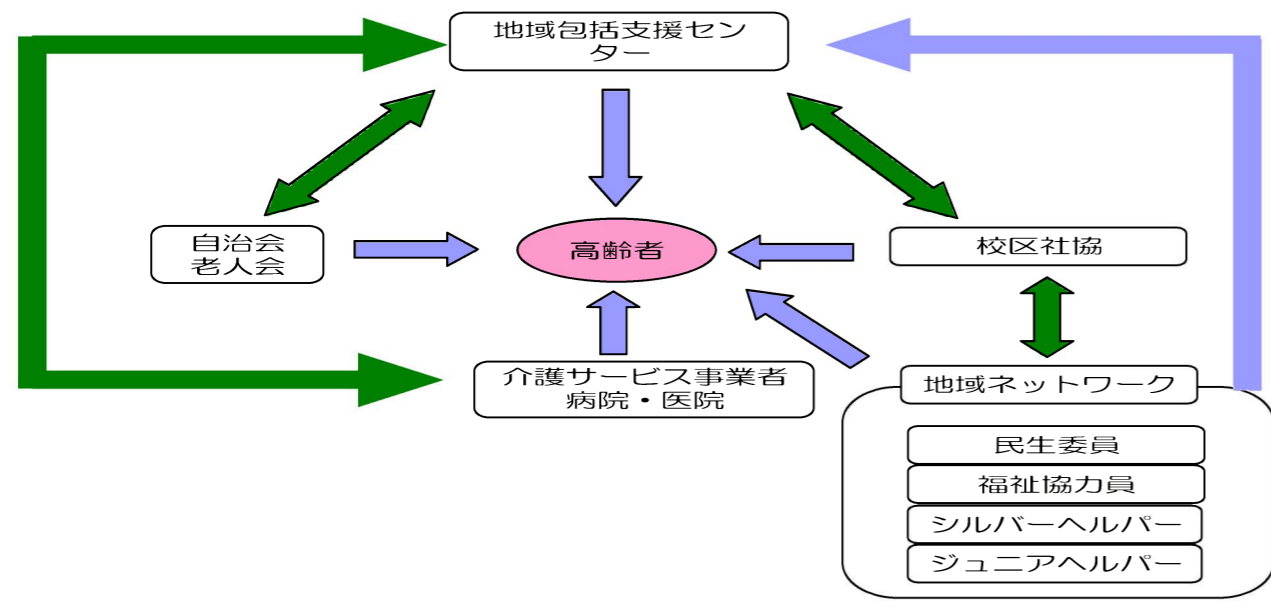


「地域ケア計画」について



地域ではひとり暮らしの高齢者の方や高齢者のみの世帯が今後益々増えていきます。高齢者の方々が住みなれた地域で尊厳のある生活(病気や介護が必要になっても)をいつまでも継続できるようにするためには、お困りになっておられる高齢者の方々のご相談を早めにお受けできて、関係する機関で速やかにつなぎ、対応することが大切になってきます。その仕組みを「地域ケア」と呼んでいます。この地域ケアの体制の拠点として、地域包括支援センターが担うことになっています。

そして「地域ケア」の仕組みを作っていく為に、熊本市では小学校区ごとに計画書を作ることになりました。これを「地域ケア計画」といいます。地域ケアの推進には、地域にお住まいの方々や様々な関係機関と一緒に進めていくことが必要になってきます。“やすらぎの森”でも、皆さんと一緒に地域ケア計画を作りたいと思います。どうぞご協力をお願いいたします。託麻原・帯山西校区が皆さんにとって、ず〜っと暮らし続けられるような街になるように！！



八月二十七日にフォレスト熊本研究発表会が行なわれ、やすらぎの森からは、森氏が「介護予防プラン作成に関する意識調査」、吉岡氏が「業務改善に向けての取り組み」を発表しました。活発な質疑、応答があり、とても有意義な発表会になりました。今後も学習を重ねる事で、ご利用者様により良いサービス提供が出来るように頑張っていきたいと思えます。

フォレスト熊本研究発表会



熊本学園大学社会福祉学部三年 大無田 愛

私は今回、やすらぎの森で四週間実習させていただきました。サロンや訪問、面接、四階での実習では、私を快く受け入れて下さり、ありがとうございました。社会福祉士になるのは難しいと思いますが、勉強頑張ります。いつか皆さんと、今度はスタッフとしてお会いできたら嬉しいです。四週間、短い間でしたが、ありがとうございました。

実習を終えて...



★編集後記★
今回は、一面に「地域ケア計画」についてご案内をさしあげました。今後、地域の皆様にご協力を頂きながら進めていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。
やすらぎの森のホームページに認知症対応強化型が追加になりました。皆さまご覧下さい。
吉岡 千春

6月7日より地域包括支援センターやすらぎの森と居宅介護支援事業所フォレスト熊本の兼務で入職しました「仲光節子」です。皆様の笑顔に励まされ、癒されています。皆様に負けないよう、私も笑顔で頑張っていきたいと思えます。



新しい職員が増えました

やすらぎの森「地域運営協議会」開催

今年度の第一回から佐田外科内科医院院長の佐田英信氏、熊本学園大学社会福祉学部准教授の黒木邦弘氏、そして第二回から帯山西校区社会福祉協議会会長の渡邊晃一氏に運営協議会の委員としてご参加いただきました。毎回この会では、やすらぎの森の活動報告や地域における課題等について意見交換がなされます。この日は、二つの事例のご紹介と「地域ケア計画」についてご相談をさせていただきました。各委員さんからは、質問や積極的な意見が出されていました。



左から、黒木邦弘様・佐田英信様・矢野道弘様
谷口恭彦様・濱和子様・渡邊晃一様・浦川真理子様

「家族介護者教室」開催中!

七月二十七日に、東水前寺公民館にて『高齢者の栄養について』と題して、介護老人保健施設「大丈夫!」と題して、介護老人保健施設フォレスト熊本の管理栄養士である、福島貴子氏を講師に迎え、講話と試食を行いました。講話では、真剣な表情で皆さん聞き入っていらつしやいました。家族を介護している方等から、特に食事をつくる上で何に注意すべきか?等の積極的な質問も聞かれました。試食は、簡単に出来るデザートや炊き込みご飯等で、小腹が空く時間にも重なり好評でした。



九月二十一日に、鹿乃家(渡鹿)で『各種防災について』と題して、中央消防署の永野茂氏を始め、計三名の方に来て頂き、お話と実演をしていただきました。実演の中には、非常食(今回は五日御飯)の作り方と、AED(自動体外除細動器)を用いた救命処置がありました。皆さんメモを取りながら、真剣な表情です。心臓マッサージも何度かしていますが、なかなか難しいですね!でも、『いや』という時の準備を日頃からしておく事は、大切だと改めて感じました。

認知症事例検討会

七月二十二日に地域におけるネットワークの構築を目指して、認知症事例検討会を開催いたしました。対象は、やすらぎの森圏域の居宅介護支援事業所さんや通所介護事業所等の介護サービス事業所さんの方々です。前半部分では、くまもと青明病院とフォレスト熊本居宅介護支援事業所から事例を提供していただき、認知症の人とその家族への支援について活発な議論が行われました。事例を通して、医療と介護の連携の重要性を改めて理解することができ、有意義な検討会となりました。後半部分では、くまもと青明病院副院長の上田啓司氏から認知症の医療や症状について講義をしていただきました。事例を交えながら認知症の診断や治療等についてわかりやすく説明していただき、各々の知識を深めることができました。今後も定期的開催して、各事業所間の連携を深めていきますので、宜しくお願いたします。



中央ブロック研修会

八月二十一日(土)、中央5地域包括支援センター和の華さんと合同で、二つの圏域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーさんを対象にした研修会を開催しました。講師にケアプラン研究所・海の大石逸子氏をお招きし「ターミナル期のケアマネジメント」について講演いただきました。

多くのケアマネジャーさんが参加していただき、大石氏の飾らない話からケアマネジャーの日頃の悩みや思いをみんなが共有することができ、有意義な研修会が開催できました。

